

共汗でつくる新「京都市動物園構想」第5弾

『ゴリラ舎(仮称)』着工!

**平成26年5月
オープン予定!**

展示場には・・・

樹上生活者であるニシゴリラ本来の行動を引き出すために、限られた空間を三次元的に移動できるよう、いくつもの鉄柱を組み合わせて設置します。室内展示場では、給餌装置を設置し、道具を利用して餌を取る様子が御覧いただけます。多目的ブースでは、チンパンジーで行っている、タッチパネルを使った学習をゴリラでも試みる計画です。その他、ハズバンドリートレーニング*を行っている様子も御覧いただけます。



屋外観覧エリアには・・・

グラウンド側に張り出した、メイン観覧エリアでは、ゴリラの声や臭いが感じられる工夫を施し、ゴリラの住む森に迷い込んだかのような感覚を味わうことができます。

屋内展示エリアには・・・

ゴリラ舎の北側と南側にそれぞれ展示スペースを設け、野生のゴリラの生息環境を映像を交えて紹介したり、日本のゴリラの情報などを提供します。

*動物の飼育や健康管理のための訓練。

できごと

プレゼント



☆7月21日に、夏の風物詩の冷たい氷のプレゼントがありました。動物たちが涼しそうに、べろべろなめる姿が見られました♪



誕生!

☆フラミンゴ舎でヒナが続々ふ化しています!

7月25日・9月5日

ヨーロッパフラミンゴ

8月23日ベニイロフラミンゴ・チリーフラミンゴ!賑やかなフラミンゴ舎を見に来てください。



☆7月27日、マンドリルのオネガメスの赤ちゃんを出産しました。オネお母さんは赤ちゃんを大事そうに抱えています。『命名 マンゴー』

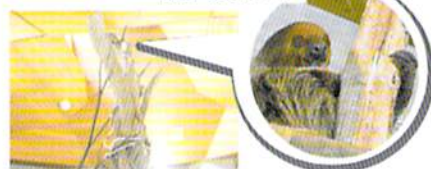


☆8月10日、フサオマキザルのシゲコが赤ちゃんを出産しました。会いに来てね。

新しい仲間

ひかり・みず・みどりの熱帯動物館に、新たな仲間が加わりました!

「命名 ほっこり」



☆木の上に!那須どうぶつ王国からやってきた、フタコビナマケモノ(メヌケ)が丸くなっています。ゆるゆるした動きなので見逃さないでね!



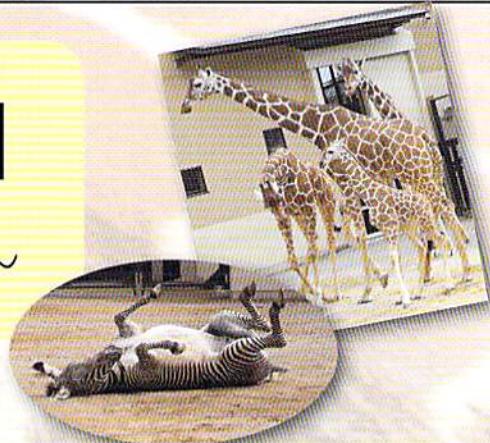
☆足元のグラウンドにはカピバラのヤスシもいます。



「Share with You??」

～キリンとグレビーシマウマの同居話～

今年の春にオープンした「アフリカの草原」。今ではキリンとグレビーシマウマが同じ空間に生活していますが…実はまだ解決していない問題があるのです。最近の動物園ではキリンとシマウマと一緒にいる光景はさほど珍しくないのかもしれませんが。しかし、野生とは違い限られた空間で異なる動物がうまくやっていくには紆余曲折があるものなのです…。そんな同居の様子を紹介します。



キリン



キヨミズ (オス14歳) 父
ミライ (メス12歳) 母
シウン (メス2歳) 娘
ウリュウ (オス0歳・5月15日生まれ) 息子

グレビーシマウマ

ライラ (メス18歳) 母
キララ (メス3歳) 娘



まずは、同居前に隣同士のグラウンドで柵越しに对面させました(この頃ライラは繁殖のため、姫路セントラルパークに行っていました)。対面してすぐはお互い何も関わりは見られませんでした。だんだん存在に慣れてくると、お互いの顔を付き合わせるような場面もちらほら見られるようになりました。

しかし、キリンたちはキララにあまり興味がないのか、あまり近づかない様子。一方で、若いキララは、遊びを誘うかのようによくちょっかいを出すようになってきました。思えばこれが、この後の展開の予兆だったのかもしれません。

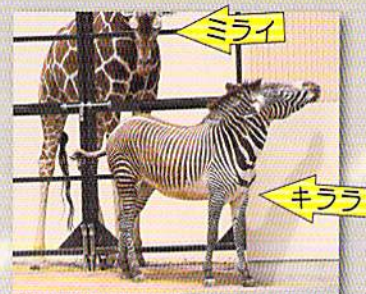


3月後半に入り、「アフリカの草原」のオープンも近づき、ライラが動物園に帰ってきました。ライラとキララは親子ですが、遊びたい盛りのキララはライラを追い回していました。

ライラとキララの同居を始めた初日。キララが、キリンとシマウマを分けるために張ってあったワイヤーロープを体で押しはずし、キリンのグラウンドに2頭とも入ってしまったのです。大混乱のグラウンド…かと思いきや何も起こらず、お互いどうすればいいのかわからない様子で立ちすくんでいました。ひとまずこの場をおさめるため、ライラとキリンたちは動物舎に収容しましたが、新しい遊び場所を見つけたキララはなかなか帰ってきませんでした。「意外と大丈夫かも…」そう思えるような雰囲気でしたが、それは大きな勘違いでした。



新しいグラウンドでの生活にも慣れ、それまで分けていたグラウンドを1つにすることになりました。まずは広くなったグラウンドに慣れさせるため、それぞれ時間をずらして使うようにしました。お互いの糞や痕跡には触れても一緒に空間には入らない…不思議な関係です。



広いグラウンドでの生活にも慣れたころ、同居を始めることにした初日の出来事です。

何事も起こらないよう願っていたのですが、もろくもキララによって打ち砕かれたのでした。足の状態が悪く、あまり早く動くことのできないキヨミズがキララに狙われ、後ろ脚蹴りの連打を浴びせられたのです（直接当たる距離でなかったのが幸いでした）。翌日以降も同じように、キリンたちに詰め寄るキララ。これではキララとの同居は難しいということで、まずはライラだけをキリンたちと同居させることになりました。

ライラは、以前生活していた動物園ではキリンと一緒にいたため、キリンとの付き合い方がわかるのか（もともとの性格もあるかもしれませんが）うまくお互いの距離感をつかみながらの生活ができました。さて、後はキララとの同居です…



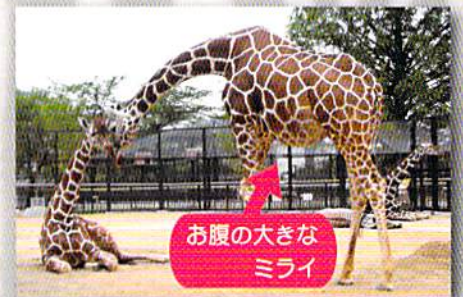
他の動物園では、シマウマがキリンにちょっかいを出すという事はよく見られており、トラブルが発生することもあるようです。「メスのキリンにいたずらするシマウマを、オスのキリンが威嚇しておとなしくさせた」という例もあり、キリンとシマウマの同居で、キリンがシマウマより上の立場に立つことでうまくいく例が知られています。キララがキリンたちよりも上の立場に居る状況では良い関係は築けません。そこで、キララとの同居は、必ず職員がついた状態で、行いました。

相変わらずキヨミズに近づくキララ。そのうちキヨミズばかりではなくミライやシウンにも向かっていくようになり、ますます優位に立っていきました。しかしその関係性にある変化が訪れる時が来ました。

ついにシウンの堪忍袋の緒が切れたのです。近づいてきたキララにカウンターの前蹴り！！…が当たらなかったのですが、突然の反撃に驚いたキララは少し距離を取るようになりました。



シウンの反撃に少しおとなしくなったキララでしたが、キリンたちの隙をうかがう状況はあまり変わりません。その頃ミライは出産を間近に控えており、キララがこのようなじゃじゃ馬では危険が伴います。キララとの同居は一旦中止することになりました。



5月15日無事ウリュウが誕生し、現在では朝から夕方までキリン一家とライラ、夕方から朝までキララがグラウンドを使うようにしています。

果たして今後どのような関係になっていくのでしょうか？このような背景を思い浮かべながら、キリンたちとシマウマたちの関係を長い目で見てあげてください。



200スポット 77

今春、生き物・学び・研究センター長として着任した、
田中正之センター長にスポットをあててみました。

私は神戸市で生まれ育ちました。大阪大学人間科学部に入って、ヒトとは何かという問いを
霊長類から学ぼうとする霊長類学（サル学）を知りました。もっとサル学を極めたくなくて、
その総本山とでもいうべき京都大学霊長類研究所の大学院に進みました。それから大学院生と
その後の教員としての期間を合わせて約15年間、霊長類研究所のある愛知県犬山市で暮らし
ました。とにかく研究漬けの毎日で、チンパンジーと会わない日はほとんどないくらいでした。

その当時「京都大学の田中です。」と名のつてはいましたが、実際に京都で暮らしたことは
なく、京都の町のことは何にも知りませんでした。京都で暮らし始めたのは、2008年に京都大
学に野生動物研究センターが出来て、その教員として着任してからでした。せっかく京都に来
たのだからと、住まいも大学のそば、高野に暮らし始めました。それからは、京都市動物園に
通う毎日です。それまではほとんどチンパンジーだけを研究相手にしてきましたが、動物園に
はたくさんの動物がいます。でも、チンパンジーをはじめとする霊長類のこと以外はほとんど
知らなかったもので、霊長類以外の動物のことは、一から勉強のし直しでした。アジアゾウにブ
ラジルバク、ヤブイヌと新鮮な驚きと興味の連続でした。そして、「動物園
」の可能性を実感したのです。

縁あって、2013年4月から、京都市動物園の一員として迎えてもらいまし
た。これからは、自分の研究ばかりでなく、動物園の面白さ、奥深さを伝える
役割もしていきたいと思います。そのために生き物・学び・研究センター
はあると思っています。



『生き物・学び・研究センター』とは・・・



このセンターは、動物園における学術研究と環境教育をより一層推進するために設けられました。

「生き物について学ぶ」

動物をよく知り、飼育動物のよりよい暮
らしなどに活かす。

「生き物から学ぶ」

地球環境や、地球に暮らす全ての「いの
ち」の大切さを学ぶ。

「学びについて学ぶ」

学校教育への教育プログラムを開発し、
教育の実践を行う。

「学びから学ぶ」

動物園で行われている、様々な学びから
学ぶ。

～これまでの活動を紹介～



独立行政法人 科学技術振興機構



「女子ワイルドライフサイエンティスト
養成講座」



当園の高木飼育員が
飼育の仕事について講演

「サイエンス・パートナーシップ・プログラム」
動物園大学ー野生動物学のすすめー

「ゾウさんからの
プレゼント」

「託された命から学び
・考える」

「チンパンジーの
喜ぶ顔が見てみたい」



動物園のfacebook立ち上げました！

定期購読を希望される方は、80円切手4枚（1年分）を同封して
京都市動物園までお申し込みください。

氏名又は名称：京都市長 門川 大作
事業所の名称：京都市動物園
事業所の所在地：京都市左京区岡崎法勝寺町126
動物取扱業の種別：展示

登録番号：070051
登録年月日：平成19年5月22日
有効期間の末日：平成29年5月21日
動物取扱責任者氏名：和田 晴太郎